

## 令和4年度 公民科 「現代社会」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 3年H組
教科書	高等学校 改訂版 現代社会（第一学習社）	副教材等	フォーラム現代社会2022（とうほう）

## 1 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## 2 学習の計画

学期	月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第2章 個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	・記述評価 ・対話評価 ・提出課題 ・定期考査
	5	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権 ④国民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障 ⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	
	6	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第1回考査	①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会	
	7	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題 ⑥国境と領土問題 ⑦外交政策と日本の役割 ①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動 ⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化 ⑨雇用と労働問題	・記述評価 ・対話評価 ・提出課題 ・定期考査
	8 9	第2回考査		

学期	月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	第6章 国際経済の動向と日本の役割  第1編 私たちの生きる社会  第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 現代に生きる青年 第3回 考査	⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②進む経済統合 ③国際経済の動向 ④発展途上国の経済と南北問題 ⑤国際協調と日本の役割 ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③科学技術の発達と生命倫理 ④高度情報社会と私たちの生活 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述評価</li> <li>・対話評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・定期考査</li> </ul>
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	1			
	2			
	3			


### 3 評価の観点

知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

### 4 評価の方法

定期考査とGoogleクラスルームを通して提出するワークシート を使用して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>諸君が現代の社会をより良く生き抜くために役立つであろうこの世界を構成するメカニズムへの知識・理解を深めるとともに、社会現象の本質を見極めるための思考力と、コミュニケーションを通して自らの視野を多面的多角的に広げるための技能を身につけるために、講義型の授業とともに、アクティブラーニング型の授業スタイルを用いる。授業内で不足する内容については、課外の講習を設定することもある。Googleクラスルーム招待リンク 6vv5sot</p>	
---	---